

健康リーダー育成本腰

県医師会推進センター開設

県医師会（齊藤勝会長）

は、県や弘前大学、民間企業などの協力を得て青森市の県医師会館6階に「健やか力推進センター」を開設し9日、開所式を開いた。

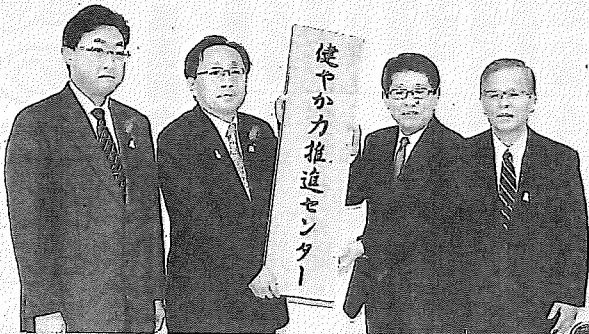
開設は1日付。センター長には県医師会の中路重之副会長（弘前大学大学院医学研究科長）が就任。同センターは今後、県内市町村職員や、民間企業の職員、保健協力員らを対象に2日間の研修を実施し、健康リーダーを育成する。

開所式で三村申吾知事は

「健康で長生きしよう」という機運が高まっている。地域の人材を育成できるように、（短命県返上へ）大きな成果を挙げることを願う。県としてもセンターが機能を発揮できるように連携、協力する」と激励。中路センター長は「一人一人の健康意識を高めるためには、身近に健康相談できるリーダーを増やすことが重要。健康とは何か、基本的な部分から伝えていきたい」と抱負を語った。

同センターは本年度、5

00人の健康リーダー育成を目指す。第1回の研修は5月13～14日、企業向けに行う予定。



研修1日目は、喫煙・飲酒などの生活習慣や認知症、うつ病などの知識を身に付ける座学の後、骨密度や血圧・動脈硬化の測定をする実技を行う。2日目はカロリーや塩分を控えた食事を体感したり、健康リーダーの活動の在り方などを話し合うワークショップを想定している。

（鳥谷部知子）

開所式で看板を披露する（右から）中路センター長、齊藤県医師会長、三村知事、一戸和成県健康福祉部長